

第27代PTA会長 大森 康久さん

今まで仮設校舎で不自由が多かったと思いますが、真新しい校舎になり、子どもたちも喜んでと思います。思いが詰まった校舎がなくなってさみしくはありませんが、新しい校舎で心機一転頑張ってもらいたいですね。学生の本分を全うし、さらにすばらしい赤池中へと飛躍を重ねてください。



第17代赤池中校長 堀川 浩昭さん

まず新校舎ができるまで、多くの方のご協力やご尽力に感謝いたします。教科センター方式の特色を最大限活用し、生徒たちの興味・関心をより高める学校づくりに教職員一丸となって取り組み、この学校を巣立つ全員が、「赤池中でよかった」と思えるような学校にしていきたいです。



第67代生徒会長 土肥 真仁さん

移動して授業を受ける新しい赤池中は、とても新鮮で、進路に向けて頑張ろうという気持ちになります。「校舎だけがよくなった」と言われないように、生徒全員がいさつもきちんとできる、みんなに誇れる学校になれるよう、新しい学校の新しい生徒会長として赤池中を引っ張ってまいります。



授業参観に来校した保護者 野口 香織さん

外観もきれいで校舎内も明るく、とても感じがいい学校ですね。子どもたちも楽しそうに毎日通っていますし、小学校に通う下の子たちも早く赤池中に通いたいとわくわくしています。新しい赤池中で子どもたちがのびのびと過ごせるよう、保護者として応援していきたいと思っています。

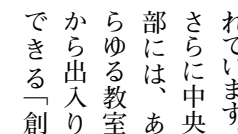


新たな環境、新たな教育、期待は大きく膨らみます。

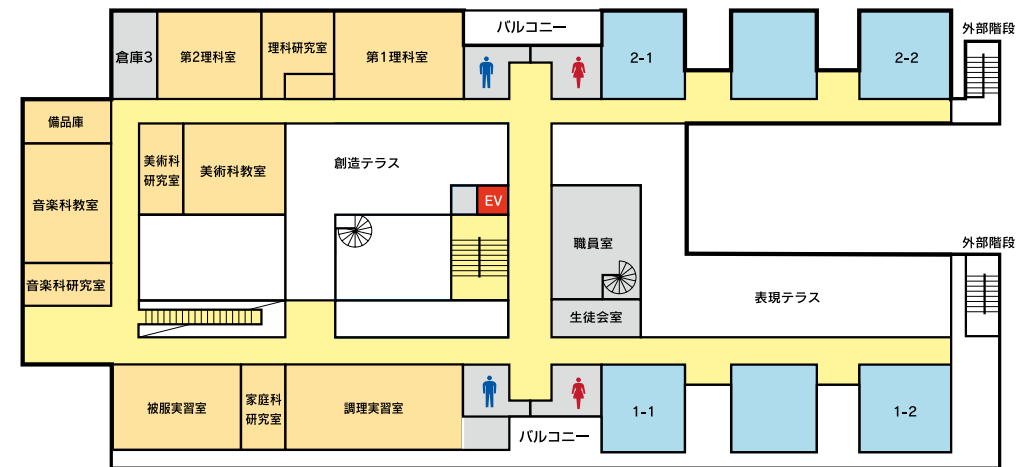
創造力を高める空間

FLOOR GUIDE

一人ひとりの感性を育む 開放的な空間の工夫
吹き抜けの階段を上ると、光にあふれた空間が姿を現します。閉鎖的になりがちな2階ですが、採光や通風に考慮し、窓ガラスを多く取り入れ、四季を通して心地よい風と暖かな日光が差し込むように設計されています。



「造テラス」と「表現テラス」を設置。生徒の集いの場としても活用できる開放的な空間となっています。またこのテラスは、2階に配置された理科・家庭・美術・音楽の専門教科との「学びの融合」を目的に設置され、太陽高度の観察など、屋内と屋外を一体的に利用した学習も可能です。生徒たちの創造力や表現力を一層高め、学ぶ意欲を引き出す学校として生まれ変わった赤池中。新しい設備を活用した先進的な教育に期待が高まっています。



創造テラス
屋外学習や美術作品の展示などが行える共有スペース。



音楽室
音響効果に優れ、生徒一人ひとり合唱や演奏の指導ができるよう階段状のステージが設置されています。



調理実習室
8台の調理台を設け、小人数グループの実習に対応。教員台の天井には大きな鏡面があり、手本を見ながら調理できます。



2階建ての職員室
他の学校にはない2階建ての職員室。両階でいつでも生徒たちの相談や学習へのアドバイスが可能です。



表現テラス
各教室のベランダからも出入りができ、教室間の移動距離を縮め、福智山を一望できる開放的な空間になっています。

【今後の予定】

現在、仮設校舎の解体工事に着手しています。さらに今後、野球用バックネットの移設工事など、グラウンドや校舎外に関わる細かな整備工事が進められ、全ての工事が完了するのは今年3月を予定しています。

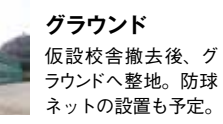
バックネット

校舎への飛球がないよう、現在の場所から南側へ移動予定。



グラウンド

仮設校舎撤去後、グラウンドへ整地。防球ネットの設置も予定。



【赤池中学校改築事業概要】

- 着工 平成25年3月吉日
- 竣工 平成25年12月吉日
- 構造 校舎：鉄筋コンクリート造2階建
体育館：鉄筋コンクリート造1階建
(一部鉄骨鉄筋コンクリート)
- 建築面積 4,887.73㎡
- 延床面積 6,271.18㎡

校舎北側にひっそりとたたずむ女生徒像。昭和26年の旧木造校舎完成を記念して、当時赤池中の美術科教員だった久原弘先生(旧赤池町名誉町民)と美術部員が制作しました。半世紀以上の歴史と卒業生たちの熱い想いから解体が見送られた彼女は、これからも生徒たちをその優しいまなざしで見守り続けます。